

マルチユース型ボンディング材

ボンドマー ライトレスII

【問い合わせ先】

株式会社トクヤマデンタル

〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9 イトピア清洲橋通ビル7F

TEL : 0120-54-1182

<https://www.tokuyama-dental.co.jp/>



企業担当者に聞く！

株式会社トクヤマデンタル マーケティング部

福留啓志

1. 本製品のアピールポイント

「ボンドマー ライトレスII」は、光照射不要、幅広いケースにおいて同一操作で使用できるマルチユース型のボンディング材です。対応するどのケースにおいても一貫して光照射不要、プライマーやアクチベーターが追加不要なため、被着面によって塗り分けるなどの煩雑な操作や迷いがなくなります。

「一部のケースでは操作が異なる」ということがないよう、徹底的にシンプルさにこだわりました。そのシンプルさゆえ操作に必要な時間も短いです。

また、高活性な化学重合開始剤技術「BoSE (Borate SELF-CURE) Technology」を採用しているため、光照射不要でありながら良好な接着性を示します。

2. このような先生にオススメ

本製品はコンポジットレジン充填、支台築造、セメンティング時の前処理などの幅広いケースにおいて、シンプルな接着操作で使用できます。また、プライマーやアクチベーターを追加することなく幅広いケースに対応できるので、在庫管理も非常にシンプルになります。したがって、広い意味でシンプルな臨床を追求したい先生にとくにオススメです。



CR充填時の
ボンディング



支台築造時の
前処理



補綴物・補綴装置の
前処理



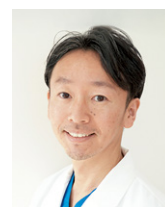
セメンティング時の
前処理

- 歯質でも補綴物でも操作はひとつ「混和→塗布→エアブロー」

さらに詳しい
情報はこちら



幅広い症例に使用でき臨床を助ける “ユースフル”なボンディング 「ボンドマー ライトレスII」



遠山敏成

Yoshinari TOYAMA

東京都・マイスター春日歯科クリニック

マルチユースな歯科用接着材

「ボンドマー ライトレスII」は、歯質や金属、シリカ系セラミック、ハイブリッドレジンなど、さまざまなものに接着できるマルチユースな歯科用接着材である。塗布後すぐにエアブローを行うことで化学重合を開始するため、チェアサイドでの待ち時間を減らせる。さらに光照射が不要なため、それらにかかる時間も削減でき、生活歯であれば照射の発熱から来る歯髄症状のリスクも避けられる。また、化学重合のため、根管内などの暗所における処置においても確実な重合が期待される。

先行のボンドマー ライトレスとの違いは、常温での保管が可能になり、液の色が変更されたことである。従来品は透明色と青色の2液を混合するものであったが、ボンドマー ライトレスIIでは黄色の液と青色の液を混ぜて緑色に変化するようになり、混ざり具合がわかりやすくなっている（図1）。本稿では、ボンドマー ライトレスIIを用いた臨床例を通じて、製品の

特徴を解説する。

正中離開症例

患者は20代、女性。「11間の隙間が気になる」を主訴に来院した（図2）。ミニマルインターベンションの観点から、無切削でコンポジットレジンを充填して審美性の改善を図った。歯質表面をクリーニングし、充填該当部位へのリン酸エッチング処理を行ったのち、エナメル質へボンドマー ライトレスIIを塗布した。

充填にはエステライトΣクイックのA2、WEペーストを使用した。患者が満足する審美的な結果を得られた（図3）。

WSD 処置

患者は70代、女性。下顎前歯歯頸部の軽度な知覚過敏症状と、フードインパクションを主訴に来院した。下顎前歯歯頸部には、水平に走る大きな楔状の欠損（WSD）が認められた（図4）。う蝕や歯周病などのその他の所見は認められなかったため、前述の正中離

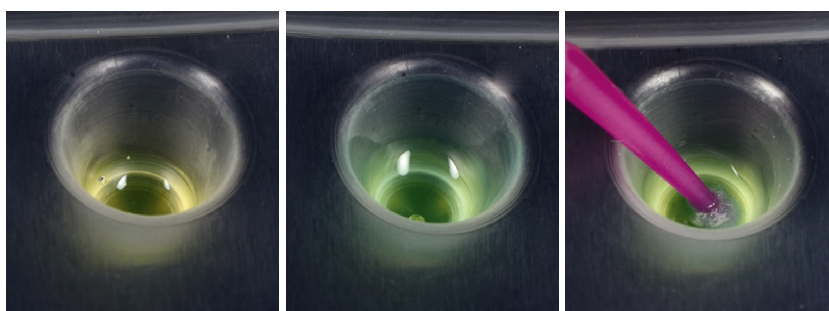


図1 黄色と青色を混ぜると緑色になることで、はっきりと混ざっていることがわかる

20代、女性の正中離開症例



図② 正中離開症例。前歯部の審美障害を訴えて来院した



図③ コンポジットレジンによる正中離開の閉鎖

70代、女性のWSD処置



図④ WSD症例。軽度の知覚過敏とフードインパクションを訴えて来院した



図⑤ テフロンテープを用いた歯肉圧排



図⑥ ボンドマー ライトレスIIの塗布



図⑦ エステライトユニバーサルフローミディアムの充填

開症例と同様に歯質の切削は行わず、表層のクリーニング後、コンポジットレジン充填の実施を選択した。

歯頸部に水平に伸びた欠損の端がわずかに歯肉上皮内に入り込んでいるため、局所麻酔後に医療認可されているテフロンテープを用いて歯肉圧排を行った(図5)。

エナメル質にのみ限局したリン酸エッチングを行い、ボンドマー ライトレスIIを塗布してエアブロー後、

エステライトユニバーサルフローミディアムのA3を充填した(図6、7)。その後、光照射するわけだが、一般的な歯科用接着材であれば塗布時にも光照射を行うため、光照射回数が1回少ない(図8)。したがって、このような知覚過敏症状がすでに出ているような症例においては、歯髄に対する熱の刺激を少なくできる点が保存修復において有効である。

歯根との形態の繋がりをもたせるために、歯肉圧排



図⑧ 光照射



図⑨ 形態修正



図⑩ ジフィーコンポジット研磨システム (ウルトラデントジャパン)の緑(粗め)で研磨



図⑪ 同、黄色 (ミディアム) で表面を滑らかにしていく



図⑫ 同、白 (ファイン) でさらに表面を滑らかに



図⑬ ジフィーハイシャイン (ウルトラデントジャパン) で最終研磨



図⑭ ジフィーゴートヘアブラシとダイヤモンドポリッシュメント (ともにウルトラデントジャパン) を用いて艶出し



図⑮ テフロンテープの除去

状態のままスーパーファインのバーを用いて形態修正を行い (図⑨)、続いて粗研磨から最終研磨へと移行していく (図⑩～⑭)。研磨ペーストを用いて表面を滑沢にしたのち、ギャップなどの最終確認を行い、問題がなければ歯肉圧排していたテフロンテープを除

去していく (図⑮、⑯)。

術直後は出血を認めたがすぐに止血され、数日から数週間で歯肉は回復した。WSD内に入り込んでいた増殖歯肉も正常に排除されるため、術前の歯肉よりも状態は安定し、歯ブラシなどの清掃性も向上する (図



図16 術直後



図17 術後3ヵ月



図18 インプラントスクリューホール。コンポジットレジンで充填を行う

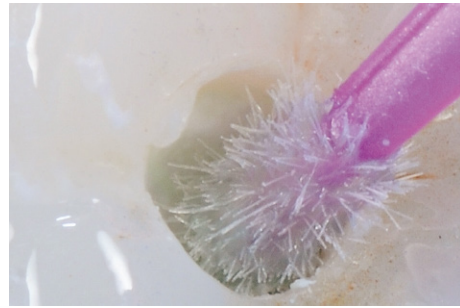


図19 スクリューホールに対するボンドマーライトレスIIの塗布

17)。

3. インプラントスクリューホールの充填

スクリューリテインのインプラントでは、最終補綴物のスクリューホールをコンポジットレジンなどで充填しなければならない(図18)。近年のインプラント治療において、上部構造にはジルコニアが用いられるようになり、あまり維持力の高い形態ではないスクリューホールに充填されたコンポジットレジン、脱離しやすい傾向にある。そのため、ジルコニア接着に効果があるリン酸モノマーを含んだボンドマーライトレスIIをスクリューホールに塗布して、臼歯部用エステライトPクイックを充填した(図19、20)。

臨床を通して、塗布後の待ち時間と光照射を行う時間がないため、よりスピーディな治療が可能になり、治療におけるエラーを少なくできる。

【参考文献】

- 1) 宮崎真至(編):コンポジットレジン修復のベーシック&トレンド. デンタルダイヤモンド社, 東京, 2015.
- 2) 片岡 有, 川島貴重:世界一わかりやすい歯科材料入門. デンタルダイヤモンド社, 東京, 2022.
- 3) 坪田有史, 島田和基, 山本雄嗣:ここまで進化したメタルフリース修復&補綴臨床. デンタルダイヤモンド社, 東京, 2013.



図20 充填後



Dr. 豊山の
ワンポイントチェック!!

食わず嫌いではありませんか?

化学重合型ボンディング材ボンドマーライトレスが、進化してIIになった。性能面使い勝手ともに改良され、リファインされた。2材混合によるプライマー添加時の安定性や強固な接着力、歯髄刺激、実際の使用時における簡便さなど化学重合型のよさを再認識したい製品である。メーカーによる基本的な製品紹介が望まれる。